

〔20〕馬術競技

1 期 日 2025 年 9 月 29 日（月）から 10 月 3 日（金）まで（5 日間）

月 日	競技番号	競 技 種 目	
第 1 日 9 月 29 日（月）	第 1 競技	成年男子	馬場馬術競技
	第 2 競技	少 年	馬場馬術競技
	第 3 競技	成年女子	二段階障害飛越競技
	第 4 競技	成年男子	スピードアンドハンディネス競技
	第 5 競技	少 年	標準障害飛越競技
	第 6 競技	成年男子	ダービー競技
第 2 日 9 月 30 日（火）	第 7 競技	成年女子	馬場馬術競技
	第 8 競技－ 1	成年男子	国体総合馬術競技（馬場馬術）
	第 9 競技	成年女子	ダービー競技
	第 10 競技	少 年	スピードアンドハンディネス競技
	第 11 競技	成年男子	トップスコア競技
	第 12 競技	少 年	団体障害飛越競技
第 3 日 10 月 1 日（水）	第 13 競技	成年男子	自由演技馬場馬術競技
	第 14 競技	少 年	二段階障害飛越競技
	第 15 競技	成年女子	標準障害飛越競技
	第 16 競技	少 年	リレー競技
	第 8 競技－ 2	成年男子	国体総合馬術競技（障害飛越）
第 4 日 10 月 2 日（木）	第 17 競技	少 年	自由演技馬場馬術競技
	第 18 競技	成年女子	自由演技馬場馬術競技
	第 19 競技	少 年	ダービー競技
	第 20 競技	成年女子	トップスコア競技
	第 21 競技	成年男子	標準障害飛越競技
第 5 日 10 月 3 日（金）	第 22 競技	少 年	トップスコア競技
	第 23 競技	成年男子	六段障害飛越競技

2 会 場 兵庫県三木市 三木ホースランドパーク

3 種別（種目）及び参加人員

種 別	監 督	ホースマネージャー	選手数※	合 計（人）
成年男子	1 × 47 都道府県	1 × 47 都道府県	84	339
成年女子			67	
少 年			94	

（注）監督及びホースマネージャーは、選手を兼ねることができる。

※ 監督あるいはホースマネージャーが選手を兼ねる場合の人数は、上記表の選手数には含まれていない。

4 競技上の規程及び方法

- (1) この競技会は、日本馬術連盟競技会規程最新版及び国民スポーツ大会馬術競技規程最新版を適用する。
- (2) 種目別参加都道府県数及び実施要領は次のとおりとする。

種別	種 目	都 道 府 県 数	実 施 要 領
成年男子	標準障害飛越競技	26	高さ140cm以下、幅160cm以下、水濠幅350cm以下、13障害以内、速度375m/分、全長約500mとする。
	スピードアンドハンディネス競技	26	高さ130cm以下、幅150cm以下、13障害以内、全長600m未満とする。
	ダービー競技	26	高さ125cm以下、幅150cm以下、18障害以内、速度375m/分、全長約800mとする。
	国体総合馬術競技	26	馬場馬術 国際馬術連盟制定の総合馬術競技・馬場馬術課目スリースターBを実施する。 障害飛越 高さ120cm以下、幅140cm以下、障害数10～11個/最大飛越数14以内、速度350m/分、全長約600m以内とする。
	六段障害飛越競技	26	障害間の距離約11m、最終障害の高さ150cmから行い、同点者が2名以上の場合は競技を続行し、1位決定まで行う。その他で減点が同じ場合は同位とする。
	トップスコア競技	26	高さ90～150cm、幅180cm以下、10障害以内、規定時間60秒とする。
	馬場馬術競技	14	国際馬術連盟制定のセントジョージ賞典馬場馬術課目を実施する。
	自由演技馬場馬術競技	14	日本馬術連盟制定の自由演技国体成年馬場馬術課目を実施する。
成年女子	標準障害飛越競技	26	高さ125cm以下、幅145cm以下、水濠幅350cm以下、13障害以内、速度350m/分、全長約500mとする。
	二段階障害飛越競技	26	高さ120cm以下、幅140cm以下、速度350m/分、全長約600m、第1段階7障害、第2段階5障害以内とする。
	トップスコア競技	26	高さ90～140cm、幅170cm以下、10障害以内、規定時間60秒とする。
	ダービー競技	26	高さ110cm以下、幅150cm以下、18障害以内、速度350m/分、全長約800mとする。
	馬場馬術競技	14	国際馬術連盟制定のセントジョージ賞典馬場馬術課目を実施する。
	自由演技馬場馬術競技	14	日本馬術連盟制定の自由演技国体成年馬場馬術課目を実施する。
少年	標準障害飛越競技	26	高さ120cm以下、幅140cm以下、13障害以内、速度350m/分、全長約500mとする。
	スピードアンドハンディネス競技	26	高さ110cm以下、幅130cm以下、13障害以内、全長600m未満とする。
	リレー競技	26	高さ120cm以下、幅140cm以下、12障害以内、全長約650mとする。
	ダービー競技	26	高さ110cm以下、幅150cm以下、18障害以内、速度350m/分、全長約800mとする。
	トップスコア競技	26	高さ90～140cm、幅170cm以下、10障害以内、規定時間60秒とする。
	二段階障害飛越競技	26	高さ120cm以下、幅140cm以下、速度350m/分、全長約600m、第1段階7障害、第2段階5障害以内とする。
	馬場馬術競技	14	国際馬術連盟制定のジュニアライダー団体馬場馬術課目を実施する。
	自由演技馬場馬術競技	14	国際馬術連盟制定の自由演技ジュニアライダー馬場馬術課目を実施する。
	団体障害飛越競技	12	高さ110cm以下、幅130cm以下、10障害以内、速度350m/分、全長約500mとする。

- (3) 全種目を通じて選手の出場は、1人2種目までとする。

- (4) 全種目を通じて馬の出場は、1頭6種目までとする。
- (5) 一つの種目への1都道府県の出場は、1回限りとする。
- (6) 団体障害飛越競技は2名戦で以下のとおり行う（選手は出場枠内で3名まで登録することができる）。

- 競技は1日で行い、チームの馬1頭に2名の選手が騎乗し同一コースを走行する。
- 後段選手の出場順序は、前段の選手の減点と走行タイムによる成績下位のチームから走行する。同点・同タイムの場合は、前段の出場順の早いチームが先に走行する。
- 前段の選手が失権しても後段の選手は走行可能とする。
- 出場順は、他の個人競技と同様に組合せ抽選会で決定する。
- 監督は、競技実施日当日の午前11時までに出場選手2名と騎乗順序(前段・後段)を申告する。

＜順位決定方法＞

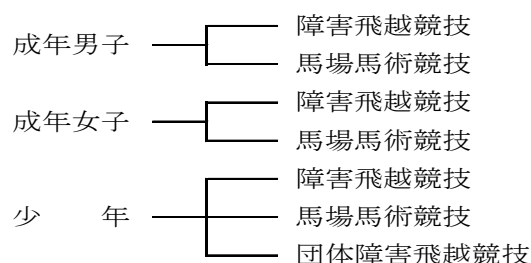
- チーム2名の合計成績（減点及び所要タイム）で順位を決定し、総減点の少ないチームを上位とする。
 - 同減点の場合は、2名の所要タイムの合計が少ないチームを上位とする。
 - 合計所要タイムが同じ場合は、比較するチームの中で最も所要タイムの速い選手が所属するチームを上位とする。それでもなお同タイムの場合は同順位とする。
 - 1名が失権したチームは、2名が完走したチームの下位とし、完走者の減点と所要タイムにより順位を決定する。2名とも失権したチームは、1名が失権したチームより下位とし、採点は国民スポーツ大会馬術競技会規程による。
- (7) 騎乗中は、必ず乗馬競技用ヘッドギアを適正に着用すること。
- (8) 選手は所属する都道府県名を出場する服装に明記すること。違反した場合は出場できない。
- (9) 欠場する場合は、それが判明した時点で速やかに欠場届を総務委員に提出しなければならない。なお、未提出の場合は、当該都道府県はそれ以降の競技に出場することができない。

5 予選方法

- (1) 都道府県馬術連盟は、都道府県大会を開催し、ブロック大会の出場人馬を決定する。
- (2) 各ブロックは、ブロック大会を開催し本大会の出場選手数、頭数、出場種目を決定する。

ア ブロック大会に参加する都道府県は、個人競技に5頭以上エントリーする場合、内国産馬を1頭以上含めること。

イ ブロック大会の必須競技種目は次のとおりとする。



- (3) 本大会参加人馬実数については、開催県を除く各都道府県はそれぞれ最大限8頭12名（監督1名、ホースマネージャー1名、選手10名）、最小限1頭3名（監督1名、ホースマネージャー1名、選手1名）とする。

開催県は13頭14名（監督1名、ホースマネージャー1名、選手12名）とする。

ただし、個人競技に5頭以上エントリーする場合は、内国産馬を1頭以上含めること。

なお、参加都道府県は、この他に3名3頭を予備人馬として登録することができる。

ア 本大会参加人馬割当表

ブロック名	都 道 府 県 名	選 手 数					選手 合計	馬 匹 数		
		成年 男子	成年 女子	少年				個人	団体	計
				個人	団体	計				
北海道	北海道	3	3	2	2	4	10	7	1	8
東 北	青森、岩手、宮城、 秋田、山形、福島	10	8	9	2	11	29	20	1	21
関 東	茨城、栃木、群馬、 埼玉、千葉、東京、 神奈川、山梨	13	11	12	2	14	38	25	2	27
北信越	新潟、長野、富山、 石川、福井	9	7	8	2	10	26	17	1	18
東 海	静岡、愛知、三重、 岐阜	7	5	6	2	8	20	14	1	15
近 畿	京都、大阪、兵庫、 奈良、和歌山	9	7	8	2	10	26	17	1	18
中 国	鳥取、島根、岡山、 広島、山口	9	7	8	2	10	26	17	1	18
四 国	香川、徳島、愛媛、 高知	7	5	6	2	8	20	14	1	15
九 州	福岡、佐賀、長崎、 熊本、大分、宮崎、 鹿児島、沖縄	13	11	12	2	14	38	25	2	27
開催県	滋賀	4	3	3	2	5	12	12	1	13
計		84	67	74	20	94	245	168	12	180

(注) 選手実数は、監督、ホースマネージャーが選手を兼ねる場合に割当表の選手数から増える場合がある。

イ 団体障害競技の馬匹の配分について

- (ア) 各ブロック大会の団体障害飛越競技において、第1位の都道府県には、選手2名、馬1頭の参加を割り当てる。
- (イ) 関東/九州の各ブロック大会の団体障害飛越競技において、第2位の都県には馬1頭の参加を割り当てる。なお、選手については、各ブロック内にて調整する。
- (ウ) 団体障害飛越競技に割り当てられた枠で出場する選手及び馬は、個人競技にも参加することができる。

ウ 各種目別出場基準

種 目 ブロック名	標準障害飛越競技、ダービー競技、スピード アンドハンディネス競技、国体総合馬術競技、 六段障害飛越競技、トップスコア競技、 二段階障害飛越競技、リレー競技	馬場馬術競技	少 年 団体障害飛越競技
北海道	1	1	1
東 北	3	2	1
関 東	4	2	2
北信越	3	1	1
東 海	2	1	1
近 畿	3	2	1
中 国	3	1	1

四 国	2	1	1
九 州	4	2	2
開催県(滋賀)	1	1	1
合 計	26 頭	14 頭	12 チーム

(注) 上記の表は、成年男子・成年女子・少年の各種別に適用する。

(4) ブロック大会開催報告

ブロック大会実施担当都道府県馬術連盟は、当該ブロック大会終了後直ちに実施報告書（実施の日時、会場、参加人員、所属都道府県名、成績の概要、合格チーム名、選手の住所、氏名、その他）を参加都道府県スポーツ協会及び公益社団法人日本馬術連盟に報告すること。

6 参加資格等

総則 5 に基づく条件を有するとともに、次による。

- (1) 少年種別に参加するには、中学 3 年生を含む 2011 年(平成 23 年) 4 月 1 日以前に生まれた者から 2007 年(平成 19 年) 4 月 2 日以降に生まれた者とする。
- (2) 選手は、ブロック大会の参加申込みの時点で、公益社団法人日本馬術連盟の会員で、騎乗者資格 B 級以上の取得者であること。ただし、少年種別に参加する選手で、騎乗者資格 B 級以上の資格がない場合は、公益社団法人日本馬術連盟の会員であることのほか参加都道府県の馬術連盟会長が発行する技能証明書を公益社団法人日本馬術連盟会長宛に提出すること。
- (3) 参加馬は、公益社団法人日本馬術連盟の登録馬であること。
- (4) 馬匹は、参加都道府県を重複して出場することはできない。
- (5) 本大会に出場する選手は、ブロック大会に必ず登録していること。予備登録の選手も同様とする。
- (6) 本項に定める参加資格は、ブロック大会にも適用する。
- (7) 監督は公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認馬術コーチ 1、公認馬術コーチ 3 のいずれかの資格を有する者であること。

7 成績採点方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その多い都道府県順に第 1 位から第 8 位を決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成 年 男 子 成 年 女 子 少 年	成 年 女 子	各種目に、1 位 8 点、2 位 7 点、3 位 6 点、4 位 5 点、5 位 4 点、6 位 3 点、7 位 2 点、8 位 1 点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分する。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、そのブロック大会で出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合には与えない。

8 表彰の方法

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種目の第1位から第8位までに、賞状を授与する。

9 参加申込方法

- (1) 所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要事項を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて 2025 年 9 月 4 日（木）までに申込手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 下記の必要書類について、参加予定馬及び、5 (3)に規定する予備馬について、別途指示する方法により、2025 年 9 月 3 日（水）必着で送付すること。

＜必要書類＞

ア 馬の検査・注射・薬浴・投薬証明手帳の写し

- 表紙
- 馬インフルエンザ予防接種証明（基礎接種から最新の補強接種まで全て）

イ 日本馬術連盟乗馬登録証（表裏）の写し

ウ 入・退厩（変更）申込書、予防接種確認票

- (4) 参加申込締切後の人馬の交代は、特別の事情（死亡、負傷、疾病、転勤等）がある場合のみ認める。特別の事情で人馬を交代させる場合は、それを証明する書類を添付し、当該都道府県スポーツ協会を通じて期限までに下記「イ 提出先」(ア)～(ウ)宛に電子メールによりそれぞれ届けなければならない。交代する人馬は、いかなる場合でも予め参加申込書に予備登録人馬として記載されていなければならない。所定の手続きに基づき提出された交代届は、各競技の技術代表が確認し大会委員長が承認する。

ア 提出期限 2025 年 9 月 27 日（土）午後 5 時

イ 提出先 (ア) 公益社団法人日本馬術連盟

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目 6 番 16 号 馬事畜産会館 6 F

TEL 03-3297-5611 FAX 03-3297-5617

Email : jef.kokuspo@gmail.com

(イ) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会 事務局

(滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 競技第一係)

〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目 2 番 1 号

TEL 077-528-3324 FAX 077-528-4836

Email : kokusupo-sanka@pref.shiga.lg.jp

(ウ) わた SHIGA 輝く国スポ 馬術競技会三木事務所

(滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 県運営競技係)

〒673-0403 兵庫県三木市末広二丁目 4 番 45 号 2 階 D 号室

TEL 080-8119-6579

Email : equestrian@pref.shiga.lg.jp

なお、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより、参加申込み情報を修正すること。

10 参加上の注意

- (1) 選手の出場順序及び組合せは、公益社団法人日本馬術連盟事務局において抽選により決定する。
- (2) 馬事衛生関係については、「わた SHIGA 輝く国スポ馬術競技会馬事衛生業務実施計画」等の規程に基づき実施する。なお、入厩にあたっては、公益社団法人日本馬術連盟の「馬インフルエンザ予防接種実施要領」の最新版の規程および公益財団法人三木山人と馬とのふれあいの森協会の「三木ホースランドパーク入厩条件」に従うこと。
 - ア 参加馬の輸送は、2025 年 9 月 27 日（土）の午前 8 時から午後 5 時まで、9 月 28 日（日）の午前 8 時から正午までに入厩できるように計画すること。退厩は、2025 年 9 月 29 日（月）から 10 月 3 日（金）とし、午前 8 時から午後 5 時までの間に行うこと。
 - イ 入厩検査は馬降時（入厩前）ではなく、入厩後に馬房内で実施するため、「馬の検査、注射、薬浴、投薬証明手帳」及び「日本馬術連盟乗馬登録証」を入厩時、馬事衛生本部に持参し、馬管理者立ち合いのもと検査を受けること。なお、検査が終わるまでは参加馬を馬房から出すことは一切できない。
 - ウ 参加馬に対する飼料は、参加都道府県または馬管理者が入厩時に持参もしくは調達し、退厩の際は全て持ち帰ること。なお、調達する際は、実行委員会が紹介する飼料業者を利用することもできる。
 - エ 会場内・外で発生した事故・盗難等は、主催者・会場は一切責任を負わない。貴重品を含む物品は各自で責任をもって管理すること。また、安全上、厩舎には補助員等を置かないため、入退厩時の馬具等の運搬については選手・監督等の関係者で実施すること。
 - オ 最終日は退厩が集中することから、自身での馬具等の事前積み込み、早めの退厩手続きを行うなど、迅速な退厩に協力すること。
- (3) ホースマネージャーの宿舎は、競技会場に隣接する「エオの森研修センター」に準備する。なお、貴重品については各自で責任をもつこと。
- (4) 人馬の事故に関して応急処置は行うが、主催者は、その責任を一切負わない。
- (5) メディカルカードは、各自で記載し携帯すること。
- (6) 未成年選手の保護者が臨場しない場合は、未成年選手の落馬後の再騎乗にかかる委任状を準備し、監督が携行すること。

11 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時 2025 年 9 月 8 日（月） 午後 1 時 30 分
場 所 馬事畜産会館 2 階会議室
〒104-0033 東京都中央区新川二丁目 6 番 16 号

(2) 監督会議

日 時 2025 年 9 月 28 日（日） 午後 4 時
場 所 エオの森研修センター
〒673-0435 兵庫県三木市別所町高木 三木ホースランドパーク内

(3) 総合表彰式

日 時 2025 年 10 月 3 日（金） 午後 1 時
場 所 三木ホースランドパーク 馬場馬術競技場
〒673-0435 兵庫県三木市別所町高木